

# 幌内変電所/三笠市



幌内発電所内部の様子

## ～当時の佇まいを残す変電所～

北炭の夕張～歌志内間約100kmの自家発送電線網の中心に位置した変電所で、1989（平成元）年の幌内炭鉱閉山まで稼働し、夕張から送られた電力を3,600Vに変圧しておりました。

1919（大正8）年に22,000Vで夕張変電所～幌内変電所間が開通、1926（大正15）年に幌内変電所～幾春別変電所、幌内変電所～神威変電所間が延長されました。1929（昭和4）年に44,000Vへ昇圧、1950（昭和25）年には66,000Vに昇圧されました。

変電所建屋は2階建てで188㎡です。長距離送電黎明期の数少ない施設として、特に2階にある当時の電気設備は貴重です。

住所

〒068-2145 三笠市幌内本沢町

公開状況

外観のみ見学可能

アクセス  
（自動車）

札幌から約52km 約1時間10分  
【道央自動車道 三笠IC降 約13分】

アクセス  
（公共交通機関）

札幌から約1時間30分  
JR函館本線 岩見沢駅降車～三笠市営バス 幌内1丁目バス停降車～徒歩1.4km

問い合わせ

三笠ジオパーク推進協議会  
電話：01267-2-3997 メール：mikasa.geopark@gmail.com

URL

<http://www.city.mikasa.hokkaido.jp/geopark/>